

1 1 感染症の原因とその広がり方

○感染と発病

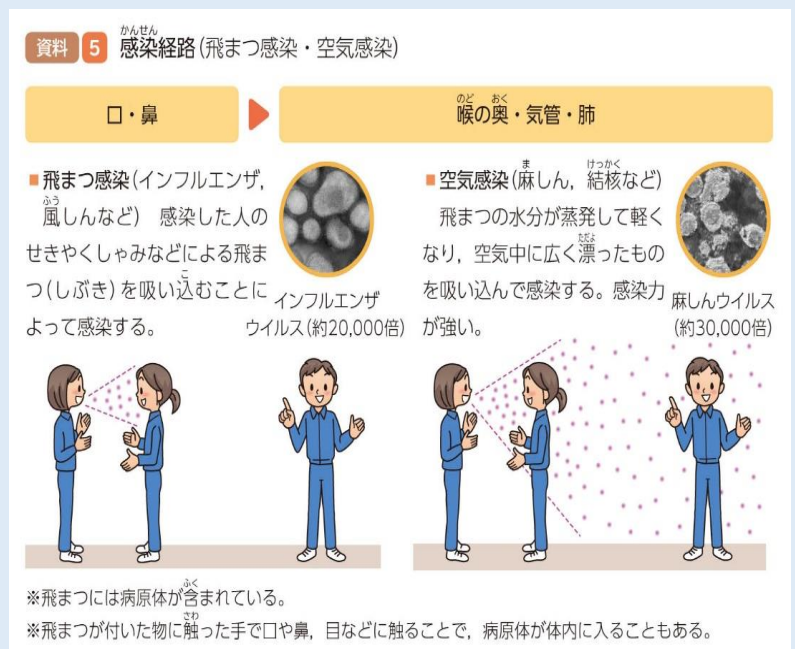
- ・感染症の原因となる(病原体)には、細菌や(ウイルス)などがあります。
- ・病原体が体に侵入し、増殖しやすい場所にすみつく状態を(感染)という。
- ・体内で病原体が増殖すると発熱などの症状がでます。これを(発病)という。
- ・感染してから発病するまでを(潜伏期間)といい、人によっては感染や発病に違いがあるのは、(抵抗力)や栄養状態などの条件が異なるためです。

○抵抗力が強ければ例え感染しても発病しないか、発病しても軽症で済む。



○感染症の広がり

- ・(飛まつ)感染…せきやくしゃみなどによるしぶきを吸い込むと感染する。
- ・(空気)感染…しぶきの水分が蒸発して空気中に漂ったものを吸い込む。
- ・(経口)感染…病原体がついた手で触った食品等、口・目から入り込む。
- ・病原体が体内に侵入する道筋を



- (感染経路)という。本人も気づかないうちに感染していることも少なくない。
- ・感染や発病には、人の条件だけでなく、温度・湿度などの(自然環境)や住居・(人口密度)・交通などの社会環境の条件も関わっている。
- ・人が(多く集まる)場所は、感染症が広がりやすい場所だと考えられる。